

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	直腸癌側方リンパ節転移の術前診断能の妥当性に関する観察研究計画 Japanese Observational Study to Evaluate the Accuracy of Preoperative Imaging Diagnosis for Lateral Pelvic Lymph Node Metastasis in Rectal Cancer 略称：JUPITER study
	研究目的	側方リンパ節郭清を伴う直腸切除術を受ける直腸癌患者を対象に、術前画像検査（CT あるいは MRI）のデータおよび術前に判明する患者因子・腫瘍因子と術後病理診断における側方リンパ節転移の有無の関連を 検討する。これによって術前画像診断で側方リンパ節転移陽性を予測する因子を同定し、直腸癌に対して行う予定である次期第 II/III 試験で用いる術前診断における側方リンパ節転移陽性の判断規準を決定すること を目的とする。
	研究期間	2015 年 3 月 12 日から 2016 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 （チェック[X]が入った項目を利用します）		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物（尿・便） <input type="checkbox"/> その他（記載して下さい） <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	研究責任者	塩澤 学
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	大腸外科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	日本臨床腫瘍研究グループ（JCOG） http://www.jcog.jp/general/index.html